

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-7																																					
PDCA	主要事業名	知多半田駅前再開発ビル 商業施設支援事業	部課名	市民経済部産業課	担当	片山																																						
					内線	321																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 4 単位施策： 商工業 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 6,456 千円 会計 一般会計 歳出科目： 06.01.02.07.57																																											
	事業概要等	事業概要： 中心市街地の核施設であるクラシティの利用しやすい環境の整備を図るため、駐車場利用補助や商業施設の賑わいづくりの支援を行い利用促進につなげる。クラシティ商業床の地権者であるため、修繕積立金費を負担する。																																										
		事業目的：	駐車場の利用補助の実施に加え、商業床から得られる賃料収入を財源に利用促進に繋がる事業に対し補助を行うことでクラシティの集客力を向上させる。																																									
		事業内容：	知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進補助金、知多半田駅前再開発ビル大規模修繕積立金																																									
	問題点・課題等：		土地区画整理事業により公的サービスなどの都市機能の集積や道路整備が進んだものの、街に活気はなくクラシティにおいても例外ではない。																																									
	予算額	主要事業とする理由																																										
	6,456 千円	CLACITY 1 ～ 2 階の所有権の一部をもつ半田市として、商業活性化は使命であるため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費	既存店舗の撤退を防ぎ、新たな事業展開による商業施設の賑わいづくり支援に寄与する。																																										
	1,167 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クラシティの商業施設のテナントの充足率</td> <td>実績値</td> <td>80.0</td> <td>88.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	80.0	88.0	—	%	目標値	100.0	100.0	100.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																								
クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	80.0	88.0	—	%																																							
	目標値	100.0	100.0	100.0	%																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
0 千円																																												
県費																																												
0 千円																																												
その他																																												
5,289 千円																																												
D と得られた成果	決算額	得られた成果																																										
	5,719 千円	ホームページやSNSで施設・館内テナント・イベント告知を行ったこと、また、食や文化に関するワークショップや書道・健康マージャン教室の定期的な実施、2階壁面ギャラリーへの作品展示を行ったことにより、利用客の定期的来館に繋がった。その他、テナント主体のイベントやマルシェ等を実施したことにより、クラシティに来館する目的・きっかけづくりや新たな客層獲得に繋がった。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クラシティの商業施設のテナントの充足率</td> <td>実績値</td> <td>85.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	令和4年度	単位	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	85.0	%	目標値	100.0	%																											
	成果指標	令和4年度	単位																																									
	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	85.0	%																																								
		目標値	100.0	%																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 定着してきているワークショップや各教室、イベントの実施により日常的な認知度向上、リピーター獲得に繋がっている。また、駐車場利用客は、昨年度に比べて増加しており、年間を通じてコロナ禍前の利用客数に戻りつつある。 一方で、テナントの退去が起きている現状もあり、クラシティへ安定した集客が行えるよう、引き続き、仕掛けづくりを支援していくことが必要である。																																										
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 今後の中心市街地の活性化を踏まえ、エリアの顔として利用者を増加するための支援を継続的に実施していく必要がある。 新たな層の定期的来館を目的としたワークショップや教室の実施を支援し、幅広い層の利用を促していくこと、館内テナント紹介や定番商品・季節限定商品の広報として、ホームページやSNSへの掲載に加え、紹介動画を作成し、各テナントの魅力発信を行うことにより、更なる利用促進を図っていく。																																										
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ある																																					
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地	※手段の変更																																					
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																					